

学校だより

11月号

一中の桜並木

令和7年11月19日

「教育目標」

考える人

思いやりのある人

助け合う人

成しとげる人



-中HP

連雀学園三鷹市立第一中学校 校長 宮城 洋之

あなたの「人権意識」は？

校長 宮城 洋之

今年も12月4日からの「人権週間」を迎えようとしています。人権週間は1948年の国連総会で採択された「世界人権宣言」にちなんで設けられたもので、最終日の12月10日は77年前に宣言が採択された日にあたります。

そもそも、この宣言が作られた背景には、20世紀に世界を巻き込んだ戦争が二度も起こり、特に第二次世界大戦中には特定の人種への迫害や大量虐殺など、人権侵害や人権抑圧が横行したことがあります。こうした出来事への反省から人権の保障は世界平和の基礎であるという考え方が生まれ、世界人権宣言につながっていったわけです。

このような背景を考えると、人権問題が国家レベルの大きな問題のように感じるかもしれませんが、「いじめ・いじり」なども明白な人権侵害であり、皆さんの日常生活でも起こりうる人権問題です。そして、日常生活における人権侵害のほとんどは自他の人権を大切にしようとする人権意識の欠如から生まれます。

「皆さんは人権意識をもっていますか？」……こう質問されたら、皆さんはどう答えますか？
自信をもって「YES」と答えることができるでしょうか？

☆ ☆ ☆

次の問いの答えを考えてみてください。



1組が栽培した真っ赤なトウガラシ

問) 路線バスの運転手 A さんはこの道 30 年のベテランです。今日も安全運転で駅前を出発しました。乗客は高校生の男女 1 組だけです。スーパーの前のバス停で女の子を連れて大きな買い物袋をさげたお客さんが乗ってきました。次のバス停では高校生の女の子が降りました。病院前のバス停からは顔なじみの看護師さんが乗ってきて A さんとあいさつを交わしました。さて、現在バスの中に女性は何人いるでしょう？

運転手の A さんも、買い物袋をさげたお客さんも、顔なじみの看護師さんも男性・女性どちらも考えられますので「わからない」が正答です。皆さんの中に「バスの運転手は男性」「子供連れで買い物に行くのは女性」「看護師さんは女性」といった「思い込み」はなかったでしょうか。

☆ ☆ ☆

私たちは無意識のうちにこうした偏った「思い込み」をしていることがあります。そしてこうした「思い込み」から発せられる言葉や行動が自覚のないまま（あるいは善意や親しみの表現のつもりで）誰かを傷つけていることがあります。

- ・「女子なのに工業系に進学するなんてすごいね」（工業系は男子という思い込み）
- ・「男なんだからしっかりしなさい」（女性よりも男性の方がしっかりするべきだという思い込み）
- ・「80歳でSNSを使いこなすなんて、うちのおじいちゃんはすごい」（高齢者はSNSが苦手という思い込み）
- ・外国出身の方に「お箸の使い方がお上手ですね」（外国出身者は何年経っても箸が上手に使えるという思い込み）

こうした例は「無意識の差別」と言っても良いでしょう。そして、無意識であるが故に自分では気づかない、周囲の人にも気づかれないまま差別が続くことにもなります。「自分は差別なんかしない」——そう思っている人が大半だと思いますが、意図せずして誰かを傷つけている可能性もあるのだということを、この人権週間に考えてみてほしいと思います。

☆ ☆ ☆

『誰か』のこと じゃない。

今年の人権週間のポスターにはこんな言葉が掲載されています。人権問題はけっして他人事ではありません。私たちの誰もが「当事者」なのです。[法務省のサイト](#)では啓発のためのショートストーリーの動画を公開中ですのでアクセスしてみてください。

